2021年6月17日 ● 水産経済新聞

水産経済新聞に掲載されました

日本赤十字社に1000万円寄付で紺綬褒章を受章

トマトコーポレーション

紺綬褒章を受章

日本赤十字社大阪府支部の大江事務局長に、寄付金の目録を手渡す岡本代表取締役㊨と谷水取締役海外部長（中央）

日本赤十字社に1000万円寄付

―２年連続で―

【大阪】大阪の食品貿易商社・㈱トマトコーポレーション（大阪市、岡本誠司代表取締役）がこのほど、紺綬褒章を受章した。

同章は、公益のため寄付をした個人や法人・団体に贈られる褒章。同社は昨年、新型コロナウイルス感染拡大による医療現場への支援活動の一環で、日本赤十字社に1000万円を寄付。昨年来のコロナ禍で、企業による公益のための寄付活動が停滞する中、多額の支援を行った同社の取り組みが高く評価され、今回の受章となった。

同社は、高級食材を用いた缶詰・ビン詰商品や調味料などを値頃感ある価格で提供し急成長。このコロナ禍でも巣ごもり需要を的確にとらえ、着実に業績を伸ばしている。

こうした中、同社は今年も、日本赤十字社に対し1000万円を寄付。岡本代表取締役ほか同社社員は去る6月7日、大阪市中央区の日本赤十字社大阪府支部を訪れ、同支部の大江桂子事務局長と意見交換を行い、寄付金の目録を大江事務局長に手渡した。

大江事務局長は意見交換の中で、「コロナ禍での大変なご苦労の中、日本赤十字社の活動支援に対し、2年続けて1000万円の寄付をいただき、岡本社長をはじめとする御社の社員の皆さまに、心から感謝申し上げたい。コロナウイルス拡大で厳しい状況にある医療現場への支援のため、有効に活用したい」と感謝の言葉を述べた。

岡本代表取締役「コロナ禍の医療現場支援に」

これに対し岡本代表取締役は、「起業して間もなく25周年を迎えるが、これまで支えていただいた多くの皆さんへの恩返しの気持ちと、コロナ禍の中でご苦労されている医療現場の方々への支援の気持ちから、2年続けて寄付をさせていただいた。今後も寄付活動を果たせるよう、会社の業績発展に向け邁（まい）進したい」と応えた。

また同席した同社の谷水真紀子取締役海外部長も、「当社の企業規模からいえば、この金額はとても重みのあるもの。全社員の気持ちが詰まっており、社会のためしっかり役立ててほしい」と要望した。

日本赤十字社は今年の寄付に対しても、同社へ紺綬褒章を授与申請することとしている。